

申12号 ワンマン運転の拡大に関する解明申し入れ 団体交渉を行う!

提案前に詳細な資料が職場で掲示された事象について

(組合)なぜ掲示されたのか。事象としては重大なものと受け止めている。

(会社)さまざまな資料がさまざまな所で配布されている。情報管理はできていなかったが、成案は提案しているものである。

管理できていなかったとしながらも成案ではないと主張!!

解明での会社回答

1項：今回、ワンマン運転を拡大するに至った理由について明らかにすること。

- ・一定程度技術的な開発が進み、作業の置き換えが可能になった。
- ・人口減少など社会環境の変化を見据え、生産性を上げてお客さまに選んでいただく。
- ・すぐに全線区できるとは思っていない。利用状況などを含めて検討した上で拡大していく。
- ・運転士のみになるので線区の実績は上がる。安全を考慮した上で導入していく。
- ・機械にできることは機械に置き換え、人ならではの対応、判断業務にシフトしていく。
- ・ワンマン拡大によって安全・快適なサービスが提供できる。

2項：現行当社において実施しているワンマン運転の成果と課題について明らかにすること。

- ・ワンマンは一定程度お客さまの理解は得られている。Suica 導入の要望があるがシステムや費用的に難しい部分もある。
- ・不正乗車はあってはならないこと。いかに無くしていくか、啓蒙活動などワンマンに限らず対応していく。

不正乗車の温床になっている

3項：お客さまが求める輸送サービスの提供と今施策の関連性について明らかにすること。

- ・ワンマンがお客さまのニーズではなく、安全・安定輸送、快適な車内空間、シームレスなどさまざまな要望に応じていく。
- ・社員減少も見込まれ、機械化などで列車を走らせることができる体制を確保していく。今と同じ列車本数を確保するとは言い切れない。
- ・大前提は安全・サービスレベルを落としてはいけない。生産性を上げるために拡大をしていく。
- ・テレワークなどが進めば通勤の必要も無くなる。利益を維持するためにどうしていくかを考えていかなければならない。

4項：ワンマン運転の拡大によって安全を担保できるとする根拠について明らかにすること。

- ・線区によって安全設備は必要になってくる。中編成では車側モニタ、長編成ではATO、TASC、ホームドアの整備を行っていく。車側モニタの効果が良ければ短編成への導入も検討していく。
- ・機械への置き換えで安全レベルが下がるという認識ではない。
- ・仙台空港アクセス線では大きな問題は出ていない。諸問題を解決しながら導入していく。
- ・ドア挟まりなどはモニタが車両に近い状態ではっきり見えるので、運転士のドア扱いで対応できる。
- ・起動開始後に何か異常があっても、必要なことを行えば運転士の責任ということではない。
- ・(組合) 車掌がホーム進入・進出時に行っている状態監視は必要ないということだが、ホームドアが設置されれば人もいないという認識なのか。
- ・(会社) 線区によって違ってくると思う。例えば駅の方がホームを確認した方がいい、10両はやはり車掌が乗った方がいいなど様々な議論が出てくると思う。それは様々な線区で検討した中で導入を図っていくと考えているので、一概に車掌の進入確認とかが必要ないということではなく、様々な面で検討していかなければいけない。

人から機械への置き換えで安全は保てるのか!